

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	コベルプラス新丸子教室					
	公表日 令和8年3月1日					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・個別療育と集団療育は時間帯を分けて行っている。 ・月末のコミュトレイベント時は定員を設定している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・条例に定められた基準を遵守し、運営を行っている。 ・職員の公休が重ならないようにしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・エントランスは段差がなくマットを敷いて危なくないようにしている。 ・ベビーカーが入りやすいように職員が配慮している。	・一部段差のあるスペースは声掛けや見守りをしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎朝の清掃、レッスン後の消毒を徹底している。 ・月毎に壁画を変え、季節感を持たせた楽しい雰囲気づくりをしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		・児童の特性や様子に合わせて部屋の環境整備を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・職員会議やカンファレンス等、職員同士が話し合う機会を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・事業所評価の評価内容を共有し、いただいたご意見を参考に業務改善を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・定期的に職員会議を開き意見を交換している。 ・毎日申し送りの時間を作り、療育内容、業務内容の話し合いができる機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	4	・現在、第三者機関を定めての外部評価は実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・本社によって定期的に研修が開催され参加している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・五領域に対応したプログラムが作成されている。 ・発達段階に合わせたプログラムが作成され、公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・アセスメントプログラムを実施し、児童の様子を観察するとともに保護者様のご要望をヒアリングして作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・カンファレンスで職員全員が児童についての共通理解を深めている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・担当制ではない為、職員全員がそれぞれの支援計画を理解し、支援を行う中で支援計画に沿った支援が行われているかを確認しあっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・アセスメントプログラムの中で確認をしている。 ・フォーマルなアセスメントは初回アセスメント時に行っている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・ガイドラインに沿った内容が必要な項目に反映されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		・基本のプログラムはあるが、職員間で話し合い必要な支援を療育に取り入れている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・毎月教材が変わるようになっている。 ・前回と異なる部屋、教材で取り組めるように工夫をしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・ご希望や状況に応じて組み合わせを行っている。 ・保護者様からの要望だけでなく、こちらからも提案をさせていただいている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・毎朝、朝礼時に職員全員でその日の支援について共有や打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・振り返りや気付いた点は日々の記録として入力し共有している。 ・翌日に前日の午後の療育と当日の午前の療育についての振り返りの時間を設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・毎回、支援後に記録を残し、改善が必要な項目については後日話し合うようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・計画的に行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・会議に参加する際は、情報を共有し児発管と一緒に指導員も参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・保護者様からの要望に応じて、園と連携を取り訪問をしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・保護者様からの要望に応じて、園と情報共有する機会を設けている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4	・保護者様から要望があった際には、意見書等の書面で情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	・併用されている児童について情報共有する機会を設けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	・現状、実施していない。	・今後も保護者様からのご意見やご要望を聞きながら、機会を検討していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・毎回のフィードバック時に児童の状況について保護者様とお話をする機会を設けている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	・現状、ペアレントトレーニングは未実施。 ・コミュニティでは、保護者様も一緒に参加する機会を設けている。	・今後、保護者様からのご要望を確認し、ペアレントトレーニングの開催を検討したい。 ・希望者には言語聴覚士によるご家庭でのトレーニング方法を提供している。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・体験、契約時、サービス開始前に説明を行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・モニタリングやアセスメントで、保護者様とお子様の意向を確認している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・支援計画についての面談を行い、説明した上で同意をいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・いつでも相談出来るような環境作りの他、フィードバックや日常のお話からご家族の様子やお悩み等を把握できるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	6	・現状、保護者会や父母会は実施していない。 ・月末のコミュンティイベント時には保護者様にも参加をいただいている。	・今後、保護者様のご意見やご要望を参考にし機会を設けることや必要性について検討したい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・ご相談や面談依頼については迅速に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		・主にInstagramにて活動内容を発信している。 ・活動予定は教室にカレンダーを掲示している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・個人情報同意書の説明を行い、取り扱いには注意している。 ・個人情報に関わるファイルは書庫に保管をしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・保護者様への分かりやすい説明を心掛け、口頭やLINEを使用して情報伝達を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	・現状、招待する機会はない。	・現在はInstagramを中心に事業所について発信している。地域住民へ向けては、必要性や機会を今後も検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・定期的に訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・定期的に訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		・契約時に書類にて確認をしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・食事の提供がない為該当しないが、粘土については素材に配慮している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・作成し、訓練や措置を講じた中で支援を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・教室内に掲示をしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットが発生した場合には、教室内ですぐに共有をし再発防止について話し合う機会を設けている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・社内、社外の研修に参加している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・契約時に保護者様にご説明し、同意を得ている。		